

秋祭りの神楽について(お知らせ)

10月19日(土)は夜頃として

17時45分ごろから口田小学校の体育館入り口付近でバザー。

18時45分ごろから体育館で神楽を行います。今年の神楽の演目は次のとおりです。

順番	演 目	あらすじ(広島観光ガイドほか)
1	もどりばし 戻り橋	<p>大江山に住む鬼、酒呑童子の配下である茨木童子は、老女に化けて夜な夜な平安京の羅生門・戻り橋辺りに出没し、人々に災いをかける。</p> <p>そこで、源頼光は「四天王」と呼ばれる家来のひとり、渡辺綱に茨木童子の征伐を命じる。ところが茨木童子は妖術を巧みに使い、酒呑童子を召喚。渡辺綱の一命が危うくなる。</p> <p>すると石清水八幡のご神徳を授かり坂田金時が登場。二人が茨木童子の左腕を切り落とすと、童子らは大江山へと逃げ帰る。</p>
2	たきやしゅひめ 滝夜叉姫	<p>父・平将門を藤原秀郷、平貞盛に殺された滝夜叉姫は、父の無念を晴らそうと貴船神社に祈願した。すると不思議な妖術を授かり、鬼女に変容を遂げ、そして手下を集め、たちまち世間のお騒がせ者に。</p> <p>そこで大宅の光圀が、勅命のもと陰陽師・安倍晴明の力を借り、最後には姫を成敗する。この演目での姫の面は、鬼女面の中でも最も恐ろしい形相の物。姫の怨みが込められた哀しい物語でもある。</p>
3	えびす 恵比寿	<p>大国主命の第一の御子で美保神社の御祭神とされる八重事代主命(やえことしろぬしのみこと)である恵比寿様を題材とした演目。</p> <p>旅人が出雲大社巡礼の途中、美保神社に参詣し、宮人に神社のいわれを聞いていたところ、目の前に恵比寿が現れ、鯛を釣り上げ寿福をあらわすというおめでたい舞です。</p>
4	おろち 大蛇	<p>悪行により天上を追われた須佐之男命(すさのおのみこと)は、放浪の旅の途中、出雲の国にて八岐大蛇の災難に嘆き悲しむ老夫婦とその娘・櫛稲田姫(くしいなだひめ)に出会う。理由を聞くと、川上に「八岐大蛇」という大蛇が棲み、老夫婦の8人の娘が毎年一人ずつ喰われ、今年は最後に残った櫛稲田姫の番となったと語る。</p> <p>そこで須佐之男命は一計を案じ、毒酒で大蛇を酔わせて最後には討ち取る。その時大蛇の尾から宝剣天叢雲剣(あまのむらくものつるぎ)が出てくる。</p>